

教育学部 教育の方針

教育の基本的目標

教育学部は、教育は人間の可能性を最大限に伸ばすものと考えて、学校教育の理念および意義と子供理解を基盤の学びとして、専門的な学識・技能を身につけ、学生が主体的に” 知の創成” に参画し得る能力を涵養し、持続可能な社会の構築に貢献できる教育実践力を育成することを目的とした教育を行います。

養成する人材像

教育の基本的目標に掲げられた、学生が「主体的に” 知の創成” に参画し得る能力」を専門力及び探究力、「学生同士や教職員との密接な対話や議論」をコミュニケーション力、「豊かな人間性」を教養力、「教育者としての活躍および教育研究の発展に寄与できる」を実践力としてそれぞれ捉え、本学の理念と目的に基づき、「主体的に変容し続ける先駆者」を養成します。

教育の力で子供の可能性を伸ばすために学び続ける実践者

以下、5つの力を持つ人材を養成します。

- 教育活動を展開できる探究力を基盤とした実践力
- 自ら問うて、課題を見出す探究力
- 情報を収集し発信できる能力を有し、良好な人間関係を構築するコミュニケーション力
- 教育者として社会に貢献できる専門力
- 自然や社会に関心を持ち、継続して学ぶ教養力

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）

教育学部は、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】教育活動を展開できる探究力を基盤とした実践力

特色ある教育活動を展開するために常に探究心をもった教育者として活躍することができる。

【探究力】自ら問うて、課題を見出す探究力

自ら理論を基盤とした実践と、理論を通じた学びから課題を見出し、学校教育の推進のために自己研鑽を続けることができる。

【コミュニケーション力】情報を収集し発信できる能力を有し、良好な人間関係を構築するコミュニケーション力

必要な情報を収集・分析し、正しく活用できる能力を有し、効果的な情報発信ができることに加えて、周囲との良好な人間関係を構築できる。

【専門力】教育者として社会に貢献できる専門力

教育に関する諸科学の知識と技能を幅広く習得し、倫理観を持って創造的に教育実践できる。

【教養力】自然や社会に関心を持ち、継続して学ぶ教養力

自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、問題解決に向けて論理的思考力・判断力・創造力を発揮するために、学び続けることができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）で掲げた力を修得した人材を養成するため、教育学部として以下の方針及び考え方にに基づき、教育課程を編成し、実践します。

教育の実施方針

持続可能社会の実践に向けて学生が主体的に学び続ける能力を育成する教育を実施します。

教育内容の考え方

主体的・対話的で深い学びの視点から、「何を教えたか」から学生が「何ができるようになったか」を重視して、以下の教育内容を提供します。

【共通教育】

教師をめざす学生に共通して求められる汎用的技能の育成を目指し、他の学生と学び合う、共に育ち共に創る実践的な活動を提供します。

教育者としての自覚を促し、子供理解と人間関係を構築する力の育成、教育システムの理解等を目指すカリキュラムを提供します。

【専門教育】

教育に関する諸科学の知識と技能を幅広く身につけ、理論と実践を往還しつつ、反省的・創造的な教育実践を開発する機会を提供します。

教師としての力量を形成する専門知識及び技能、自身の専攻する校種や教科等に対応した提案的な教育活動を構想・実践力を身につけるカリキュラムを提供します。

【言語教育】

グローバルマインドとリサーチマインドを持ち、品位と思いやりを備えた教育者として社会を生きるうえで必要とされるコミュニケーション力と行動力を伸ばす教育を提供します。

聞く、読む、話す、書く、を統合した総合力を伸ばすために必要な英語、子供理解と異文化理解の科目群を通じて言語と対話力を学ぶ機会を提供します。加えて、学校現場で求められる教育支援を理解する機会を創出します。

教育方法の考え方

前述の教育内容を以下の方法で提供します。

①自身の可能性を主体的に広げる教育方法を展開します。

人が交わる共通教育、知が交わる専門教育、言葉が交わる言語教育を通して他者を理解し、切磋琢磨しながら、自身の可能性を広げる教育方法を実施します。

②総合大学の特長を活かした教育体系を提供します。

自らの専門を尊重しながらも、様々な専門との出会いにより、共に考え、共に動き、共に創り、共に育む教育体系を全ての課程で展開します。

③学生の成長に応じた実践的な教育プログラムを提供します。

留学やインターンシップ、プラクティカム等、地域や世界とつながった実社会における学びを提供します。

学修評価の考え方

厳格な学修評価を実施します。

講義科目では主に総括的評価を、実習・演習科目では主に形成的評価を重視します。教師を目指す学生としての基幹的な資質・能力の修得状況について、A+・A・B・C・F評価で実施し、到達目標の概ね達成の基準Cを設定しています。各科目の評価方法はシラバス等により履修者に示します。卒業研究は、審査基準・方法を明示するとともにそれらに基づいた成果の最終審査・試験を行います。

正課外教育の考え方

学生が授業での学びを越えて自らの成長を実感できる正課外の機会を提供します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育学部は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

教育および子供の発育発達と心身の健康について関心と熱意をもち、子供の全人的成長および学校教育の発展、さらには地域社会に貢献したいという明瞭な目的意識を持つ、以下の人材を求めています。

求める力

【実践力】

子供たちと一緒に活動することが好きで、学ぶことの楽しさを伝えるために、何事にも興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。

【探究力】

学校教育および子供の発育発達と心身の健康について知的探究心を持っている。

【コミュニケーション力】

自らの考えを表現することや、様々な人を理解することを通して、良好な関係を築くために努力することができる。

【専門力】

学校教育の推進や子供の全人的成長に対応するために必要な基礎学力を持ち、多様な専門教育への興味・関心を持っている。

【教養力】

自然や社会に幅広く関心を持ち、学び続けることができる。

教育学部の選抜方針

幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

教育学部の選抜方法

学力検査、面接、書類審査、ペーパーインタビューなどによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本学での学修に足る学力または適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

・一般選抜(前期日程)

大学入学共通テストについては、6教科8科目又は7教科8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

個別学力検査については、学校教育教員養成課程は、国語、理科、数学、外国語（英語）の4教科からの2教科か、音楽実技、美術実技、体育実技のいずれかを選択し、教員を目指す上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します（志望する専攻等により選択教科に指定があります）。養護教諭養成課程は、小論文及びペーパーインタビューを課し、養護教諭の仕事と子供の発育発達や健康についての理解力、思考力、表現力を評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ【岡山県北地域教育プログラム選抜】

面接・小論文及び書類審査（志望理由書、活動体験報告書、調査書、推薦書）を行い、岡山県北地域の教員として、学校及び地域社会に貢献しようとする意欲や適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ【岡山県工業科教員養成プログラム選抜】

面接・小論文及び書類審査（志望理由書、調査書、推薦書）を行い、岡山県の工業科教員として、学校、地域社会及び産業界に貢献しようとする意欲や適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ

大学入学共通テストについては、6教科8科目又は7教科8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接（口述試験を含む。）及び書類審査（志望理由書、調査書、推薦書、英語資格・検定試験成績（中学校教育専攻英語教育コースのみ））については、希望する専攻等の専

門をふまえて教育の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解について評価します。

・総合型選抜

大学入学共通テストについては、6教科8科目又は7教科8科目を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

面接（口述試験を含む。）及び書類審査（自己推薦書、調査書）については、養護教諭として教育の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解について評価します。

・国際バカロレア選抜

面接及び書類審査（成績評価証明書、自己推薦書、評価書）を行い、グローバルスタンダードに基づく基礎学力、日本の学校教育の場で活躍したいという意欲や姿勢、これまでの学習や活動体験に基づいた専門分野への関心と理解及び優れた国際感覚について評価します。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

入試区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	○大学入学共通テスト ○英語資格・検定試験成績(注1)	◎個別学力検査等(国語, 理科, 数学, 外国語, 実技)(注2) ◎英語資格・検定試験成績(注3) ◎小論文(注4) ◎ペーパーインタビュー(注4)	☆ペーパーインタビュー(注4) ☆調査書
学校推薦型選抜Ⅰ 【岡山県北地域教育プログラム選抜】(注5)	☆面接(個人・集団) ☆小論文 ☆調査書	◎面接(個人・集団) ◎小論文	○面接(個人・集団) ○志望理由書 ○活動体験報告書 ○調査書 ○推薦書
学校推薦型選抜Ⅰ 【岡山県工業科教員養成プログラム選抜】(注6)	☆面接(口述試験を含む。) ☆小論文 ☆調査書	◎面接(口述試験を含む。) ◎小論文	○面接(口述試験を含む。) ○志望理由書 ○調査書 ○推薦書
学校推薦型選抜Ⅱ (注7)	○大学入学共通テスト ○英語資格・検定試験成績(注8)	◎面接(口述試験を含む。)	○面接(口述試験を含む。) ○志望理由書 ○調査書 ○推薦書
総合型選抜(注9)	○大学入学共通テスト	◎面接(口述試験を含む。)	○面接(口述試験を含む。) ○自己推薦書 ○調査書
国際バカロレア選抜	☆面接 ○成績評価証明書	◎面接 ○成績評価証明書 ☆自己推薦書	○面接 ○自己推薦書 ○評価書

(注1) 学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程で実施します(提出は任意)。

(注2) 学校教育教員養成課程で実施します。志望する専攻等により選択科目に指定があります。

(注3) 学校教育教員養成課程で実施します(提出は任意)。

(注4) 養護教諭養成課程で実施します。

(注5) 学校教員養成課程小学校教育専攻・中学校教育専攻地域教育コース、養護教諭養成課程地域教育コースで実施します。

(注6) 中学校教育専攻技術・工業教育コースで実施します。

(注7) 学校教育教員養成課程で実施します。

(注8) 中学校教育専攻英語教育コースで実施します(提出は任意)。

(注9) 養護教諭養成課程で実施します。

(注) ◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高校では授業に意欲的に取り組んでください。学習内容を習得するだけでなく、その楽しさを発見してください。良い教師とは、学ぶことの楽しさを伝えることができる人です。子供の学びと発達、心身の健康、教育をめぐる社会の問題に興味をもって自分なりに考えたり、部活動やボランティアなどに積極的に参加したりするなど、幅広い経験を積んでください。